

水神社・海神神社の謎

菊池川上流く中流域に位置する私たち菊池市民のルーツは、どこなのか。いつ、どこから菊池にやってきて、この地に住み着いたのだろうか。

私の小さいころは、夏になると「川祭り」をして、河童の好きなキュウリを川に流していた。川祭りは、川での事故が無いように水の神様にお供えをするものである。水の神様としては、菊池市水源に「天地元水神社」がある。この神社は、水の神様であり、河童の神様でもある。宮司の渋江公昭さん宅に残された膨大な河童資料は貴重である。渋江氏の本家は、肥前長島庄の潮見神社だという。肥前（佐賀）は、元は熊本と同じ肥の国である。八代の九千坊（河童）と共に「肥の国」は、河童伝承のメッカである。



「天地元水神社」

菊池市には、天地元水神社のほかにも水神さんを祭る神社が、森山水神社・乙姫神社・牧原水神社・馬場水神社など4社ある。また、海の神様として住吉神社・寺町神社などがあり、海から遠く離れたところに水神や海神があるのは、珍しい現象である。菊池郡西部神社誌の住吉日

吉神社の項によれば、「往昔ここは、海潮通じ、百船輻湊す」の国である。八代の九千坊（河童）と共に「肥の国」は、河童伝承のメッカである。このように菊池には、水や海に関する神社が多く見られる。これは古代湖「茂賀の浦」が存在したことに関係があろう。これらのことから菊池のルーツは、水神や海神に関連する揚子江流域から海流に乗ってやって来たのではなからうか。

菊池の古代史研究 中原 英

人権同和教育シリーズ⑥ 泗水中学校（平成21年度卒業） 緒方唯果乃

水俣フィールドワークを
経験して

私が水俣病を知ったのは、小学生の時でした。現地に行き学習はしたもののあまりよく分かっておらず中途半端でした。「水俣病って怖いな」、「チツソが流した排水によってこんな事になったんだ」と、分かっている様で、まだ知らない事がたくさんありました。中学生になり人権委員会に入り、人権委員長になり、学校や集会所などでさまざまな人権問題を少しずつ知っていました。その中で私たちは水俣病という病気についての学習をし、現地学習をすることになりました。

水俣病をもっと軽いものだとして受けていた私は、水俣でたくさんさんの事を学び知ることができて本当によかったと思っています。胎児性水俣病の患者のとお会いしました。私たちには何を話されているのかわかりませんでした。ですが、体全体を使って精一杯、そして一生懸命に何かを伝えてらっしゃること

は分かりました。それは、「これからも頑張って生きてゆきたい」ということです。初めて目の前にした患者さんに何ひとつ伝えることはできなかったけど私たちはたくさんさんの力と勇気をもらったと思います。

語り部川本ミヤ子さんからの話では、みんなが真剣になり聞き入りました。川本さんの夫の輝夫さんは父を水俣病で亡くし、患者救済の運動に立ち上がりました。輝夫さんのした行動は、たくさんさんの辛いとか悔しいとかの思いがあってもそう簡単にできることではないのです。周りにはチツソで働いている人もいて、反対する人も少なくありません。その行動を支える家族も辛い思いをしてこられました。石を投げられ、家の中を水浸しにされ一晩中眠れない日々を送りました。「お金をあげるから、運動もやめろ」という言葉に負けてしまった仲間に見離され、その中でも輝夫さんは闘い続けました。輝夫さんは患者救済に自分の一生を捧げたのです。水俣で苦しむ多くの人々の気持ちと、熱意でどんなに辛い時でも乗り越えてこられました。そんな輝夫さんを私はすごく尊敬します。そしてとてもすごい人だ

と思いました。水俣病患者の人がおられる「ほっとはうす」というところにも行きました。患者さんがたは、私たちにたくさんさんのことをお話ししてくださいました。いろんな患者さんを見て思ったことは、笑顔がステキだということです。辛い思いを話された後でも私たちに笑顔をくださいました。みなさんとても一生懸命生きていらつしゃると感じました。私はこの笑顔をお忘れたいし、失いたくありません。そのために私たちができることは限られていて、とても小さく役に立たない一歩であっても、私や周りのみんなにできることであるならそのささいな一歩も踏み出していきたいです。その一歩が集まればとても大きな力になるからです。まずは身近なところから目を向けていきます。今、となりにいる人は笑っているか、そう思うだけでその人は動くことができるし、笑顔も増えていくと思います。私は水俣で学んだことを忘れずいろんなところで一歩が踏み出せる人になりたいし、笑顔を増やしていきたいです。このことは、みんなが考えていくべきことではないでしょうか？

石鎚

久米八幡宮の境内には、石鎚という呼び名の総延長が約40mの石群があります。

用途や目的は不明な点が多いため、西南戦争の陣地跡とも屋敷の石塁とも言われる説もありますが、昔からイノシシやシカよけの柵と伝えられています。また、付近からは、古銭や土師器、瓦器が出土しました。



認定番号 第ふるさと H21-8 号
推薦者 久米一区

鼻突地蔵

鼻突地蔵は、久米集落の西の外れの三差路にあり、自然石の中央をくり抜いて、仏像を彫った中世の石板がはめ込んであります。この像容は、蓮弁に立つた仏像の頭部から、放射状に後



認定番号 第ふるさと H21-10 号
推薦者 山崎の景観保存会

山崎区の玉石垣

山崎区の玉石垣は、山崎区内の道路端各所でみられ、農地確保のため、住居を平地に造らず、高台に造った先人の知恵を顕彰しています。

玉石は、平地の水田造成のと



認定番号 第ふるさと H21-9 号
推薦者 久米一区

光が広がる繊細かつ優美な姿をしています。目を閉じて、遠くから歩いて像の鼻の部分に指先が当たると、良縁に恵まれるとの伝承からこのように呼ばれています。

馬売り

馬売りは、中片地区や虎口地区で行われ、農耕馬への感謝から始まったと伝えられる小正月の伝統行事です。

子ども（男子）の祭り、毎年、1月14日の午後に、座元宅で、親たちがワラと竹で馬を作り、薄暗くなつてから、子どもたちが地区を巡回して、馬を配ります。このとき、馬を売って帰る子どもたちに、水をかける風習があります。また、ワラでできた馬は、豊作や家内安全をもたらす縁起物とされています。



認定番号 第ふるさと H21-11 号
推薦者 龍門1区

わいふ一番館だより

問い合わせ先
わいふ一番館 ☎ 0968 (24) 6630

わくわく写真館

ザ☆シャッターズ 吉田光宏

期間：8月3日(火)～8月15日(日)

夏のこの時期に開館する「わくわく写真館」。20代6人が贈る夏物語！30点以上展示！さあ、いよいよオープンです！

菊池市高齢者大学書道クラブ作品展

高齢者書道クラブ 平山清登

期間：8月17日(火)～8月29日(日)

菊池市中央公民館での、月1回の練習の成果を皆さんに見ていただければ幸いです。

地域猫活動 T a c (タック)

T a c 本田とも子

期間：8月31日(火)～9月12日(日)

私たちT a cは熊本市動物愛護センターの指導のもとで地域猫活動を行っています。活動の主旨をぜひご覧ください。

菊池夢美術館情報

問い合わせ先 菊池夢美術館 ☎ 0968 (23) 1155

夏を遊びましょ！

期間：7月～8月22日(日)

アクセサリーや暮らしを彩る作品を作ってみませんか？菊池のアーティストが指導します。今年の夏の思い出に親子で、兄弟で、ご夫婦で創ってください。香りの石鹸で創る花・めずらしい陶器のアクセサリー・暮らしを彩るおりがみ。

高山法雄 水彩画展

高山法雄

期間：8月24日(火)～9月12日(日)

菊池高校出身。数々の展覧会で賞を受賞。菊池市と交流のある奄美大島の田中一村美術館にもその絵が展示されています。繊細で緻密な絵をご覧ください。

開館時間 午前9時～午後6時